

## 平成24年度7月定例記者会見 会見録

日時 平成24年7月26日（木）午後2時30分～2時45分

場所 市役所2階 第1特別会議室

（市長）

最初に、女子サッカー・なでしこジャパンについてでございます。

本市出身の岩清水梓選手は、なでしこジャパンのメンバーとして、ロンドンのオリンピックに出場しております。本日早朝に岩清水選手が先発出場したなでしこジャパンの初戦・カナダ戦が行われ、2－1で勝利を収めたところでございます。大変、嬉しいニュースが届きました。先日、市役所にお越しいただいたときには「初戦が大事」とおっしゃっておりましたので、重要な一戦をものにしたのではと思います。この勢いで順調に勝ち上がっていただきたいと思っております。

なお、岩清水選手の出身地でございます岩手県滝沢村では、本日の試合からパブリックビューイングを実施されたと伺っております。本市におきましても、市民の皆様が更に一丸となって応援できますよう、準決勝以降の日本代表の試合で、パブリックビューイングを実施したいと考えております。準決勝は岩清水選手の地元でございます南区の南市民ホール、そして、決勝または、3位決定戦になった場合には、最大1200人超を収容できます市民会館のホールで実施する予定でございます。具体的な時間、内容につきましては、必要がございましたら、後ほど、担当よりご説明させていただきます。

次に、ホームタウンチームの認定についてでございます。

「相模原市ホームタウンチーム」認定制度につきましては、スポーツ振興によるまちづくりの推進、そして本市のシティセールスを目的としまして、本年3月に創設したものでございます。

お手元に資料を配布させていただきましたが、戦績や実力、市民との交流、地域貢献の状況などから、アメリカンフットボールの「ノジマ相模原ライズ」、ラグビーの「三菱重工相模原ダイナボアーズ」、サッカーの「SC相模原」、この3つのチームを認定させていただくこととなりました。

ホームタウンチームとして認定したチームが、各リーグ戦や市民交流、イベント等、様々な機会活躍することにより、まちが元気に、また、市民が一体感や誇りを実感する機会となり、さらには、相模原のすばらしさを市内外に発信できるなど、大きな効果が期待できると考えております。また、ホームタウンチームにおきましても、市を代表するチームであるという誇りを持って、さらに高いモチベーションで、試合や市民との交流イベント、地域への貢献活動などに臨んでいただけるものと思っております。

話を聞くとところによりますと、フットボールの代表的な3つの競技であるアメリ

カンフットボール、ラグビー、サッカーのチームが、トップリーグ、若しくは、それに近いレベルで活躍しているというのは、全国的にほとんど例がないと伺っております。市といたしましては、「スリーフットボールタウン」としてもPRしていきたいと思っております。

このホームタウンチームの認定式につきましては、8月1日水曜日午後4時30分から行う予定でございますので、ぜひ、取材をお願いいたします。

最後になりますが、これから本市の夏の風物詩でございます夏祭りや花火大会が行われます。本市の六大観光行事でもあります、県北地域最大の「上溝夏祭り」が明後日の土曜日28日から2日間行われます。また、ユニークな竹飾りが有名な「橋本七夕まつり」は、8月3日から5日までの3日間、開催されます。花火大会につきましては「さがみ湖湖上祭花火大会」が8月1日、「相模原納涼花火大会」が8月25日に開催されます。ぜひ、取材をお願いいたします。

私からは以上でございます。

(記者)

パブリックビューイングに市長は行きますか。

(市長)

私は(ロンドンへ応援に)行けませんが、都合がつけばパブリックビューイングには行きたいと思っております。先般、滝沢村の村長から一緒に応援しようという連絡がございました。先ほど申し上げましたが滝沢村は、今日からパブリックビューイングをされ、岩清水選手が出場する全試合のパブリックビューイングをされるとのことです。このこともあり、相模原市も一緒に応援しませんかというお話がありましたので、岩清水選手の出身地である滝沢村、今住んでいる相模原市、一体で応援したいと思っております。ぜひ、勝ち上がっていただきたいと思っております。

(記者)

パブリックビューイングに岩清水選手の家族が来られる予定はありますか。

(市長)

前回のワールドカップの時にはお母さんがお越しいただいたのですが、今回、お父さんとお母さんともにロンドンに応援に行かれると伺っております。(いつロンドンに応援に行かれるかはわかりませんので)調整し、可能ならパブリックビューイングにお越しいただきたいと思っております。ただ、現地で直接元気を与えていただけるのであればそれに越したことがないと思っておりますので、残る市民としてパブリックビューイングに一人でも多くの方にご参加をいただき、元気を届けたいと思っております。お父さんとお母さんの参加につきましては、これから調整したいと思っております。

(記者)

岩清水選手をテレビで見ていると、岩手県出身ということが前面に出ておりますが、もう少し「相模原」ということを言っていただけるといいですね。

(市長)

そうですね、もう少し「相模原」ということを言ってもらえるよう働きかけをしたいと思います。

(記者)

ホームタウンチームの3チームを認定し、具体的に市としてどのような支援をする予定ですか。

(市長)

現在も一部行っておりますが、試合や活動状況などを、市の広報紙などで紹介したいと思います。また、いろいろな場面を捉えて、「相模原市のチームです」、「試合やイベントはいつ行われます」という情報を、積極的に発信したいと思っております。また、市民との交流などについても、市が介在し、いろいろなイベントを考えていきたいとも思います。

(記者)

いじめ問題について、県からも調査がきていると思いますが、相模原市での状況はいかがですか。

(市長)

今回の問題は、非常に残念な事態だと思います。日頃から我々もいじめや学校での生活状態などを、現場である学校で把握できるよう、常々、教育委員会とお話しをさせていただいていますし、学校現場でも日常の状態の把握に努めていると聞いております。今回につきましては、教育委員会としていじめがあるかないかの把握が最重要だと思いますが、現場において、そういう調査等を行っていただけていると思っております。日頃から、子どもの活動状況、生活状態などに異常がないかを現場の先生が常に把握するということの必要性が高まったのではないかと思います。

そのようなところに手が行き届く教育現場を教育委員会とともに作っていきたいと思っております。

(記者)

神奈川県ががれき処理の問題で代替案として漁網の受入を要請されたのですが、相模原市としては、現状でがれき処理に関してどのようなお考えがありますか。

(市長)

神奈川県から漁網の受入れをしたいというお話がありました。がれきにつきましては、これまで焼却できるがれきをどう受入れるかという協議を政令3市と神奈川

県で行ってまいりました。最終処分は、横須賀の芦名にある神奈川県産業廃棄物処分場が前提ということでお話がありましたが、その合意形成に至っていないというのが現状です。

協議をしている間に、焼却できるがれきが少なくなってきたこともあり、神奈川県など被災地以外の自治体で、どのようながれきを受けられるのかという再調査を国等がしているとも伺っております。現状として、国や被災地等から、「このようながれきを、このぐらい」というような具体的なお話はありませんが、漁網の処理が進まず、被災地の復興に非常に障害になっているという話もありました。神奈川県としては、焼却できるがれきでなく、漁網を積極的に受け入れ、横須賀市にある産業廃棄物の最終処分場へ埋立てということで、処分の協力をすると伺っております。燃すのではなくて、そのまま埋立て処分をしようという話ですが、これも受入れをしていただく横須賀市の地元のご理解をいただくことが必要であり、具体的にどのように安全確認をするか、また、どのように被災地から神奈川県まで持ってくるか、どういう手順で処理をするかなど、詰めきっておりません。横須賀市の地元問題も含めまして、政令3市と神奈川県で具体的な調整を進めながら方向性を見出していくことになると考えております。